



◎長野縣で不景氣救済のため道路改修

日本邦第一の蠶絲國を以て誇る長野縣は、海に一寸も縁がないから世界不況の潮流が、流れ込んで来る氣遣はないと安心して居つたところ、いつか知らず不景氣の颶風に襲はれて、古今未曾有の繭價の大暴落が來た、昭和四年に於ける繭絲の產額は、三億五百九十九萬一千六百五十圓であつたのに、本年の生産見込は一億四千七百七十五萬七千圓にして前年に比し實に五割餘の減收だ、即ち前年の繭價、七、八圓に對し本年の相場は三圓内外にして、前年の半額にも達しない、七、八圓の時代に於ても繭一貫目の收穫に要する生産費は四圓を要する、差引残る三圓が勞働報酬として

農家の生活費に充るのである、然るに本年の如く繭價三圓の場合に於ても生産費は尙三圓五十錢を要した、従つて生産費に於て既に五十錢のマイナスを生じてゐる、況して生活費に充るべき勞働報酬の浮び様筈がない、従つて秋蠶に手を出すものも少いと云ふ始末で、失業者は日を逐うて其の數を増し今や壹萬に達せんどし、農家の半失業者を加ふるときは其の數實に五萬を超え、六大都市の失業率より遙かに高率を示し、長野縣下の不景氣は全く極度に達した。

此の際之が救済を爲すにあらざれば人心は益々悪化して地方自治を破壊し收拾すべからざる事態を惹起するの虞ありと認められたる、鈴木長野縣知事は、之が防止方法に付百方攻究を重ねられたる結果遂に、道路改修事業の起興に俟つの外なしとして、之が計畫を樹立せられ目下其の實現に銳意努力中である。

その計畫の概要を見るに、縣に於て施行する國縣道の道路改修七〇箇所延長三萬五千米矣此の工費八十三萬一千圓、橋梁の改築四橋此の工費四十三萬六千圓、町村をして起

興せしむる町村道の道路改修一五九箇所、此の工費百十一萬一千圓(縣費補助四十一萬六千圓)、橋梁の改築十二橋、此の工費七萬六千圓(縣費補助二萬九千圓)縣、町村を通じての道路橋梁改築費合計二百四十五萬四千圓に及ぶ、其の他堤防の新設、河川の改修等併せて三百萬圓に近き土木事業を計畫し、而して其の工事施行個所は沿く縣内に分布せしめ、工事に要する勞働者の數五十六萬五千五百人(一日平均使用人員三千百七人)は、一切地元失業者を使用して其の恩恵を、夫々その地元民に均霑せしめんとする所に當局苦心の程を窺はれる。

又國縣道改修費に對する地元の負擔率、四割五分乃至五割を四割乃至四割五分に低下して從來に對し五分を輕減し一面市町村道に對する縣費補助率、道路の三割を三割五分に橋梁の三割三分を三割八分に改めて、從來に對し五分を増加せんとするが如き、誠に機宜を得たる措置と敬服する。兎玉課長が新任地長野で何か目醒しい仕事をするだらうとは、各方面に於て等しく期待して居つた所である、果せ

る哉君は七月月中旬に赴任して僅かに、一ヶ月に足らぬ日子を以て今回の大計畫を完成して、不景氣の救濟と共に沈滯せる長野縣の土木行政に、「新生面を拓かんとする努力に對し大いに敬意を表し併て君の健康を祈る。(徳田生)

◎自動車専用道路の開通

日本自動車道株式會社の經營に係る、神奈川縣下省線大船驛より天下の景勝地江ノ島に達する延長四哩餘の自動車專用道路は大正十五年に許可を受けたるものにして、我が國に於ける専用道路開設許可の嚆矢であつた、が道路の性質が人馬、荷車、自轉車等、自動車以外の通行は一切罷りならぬと云ふために、地元の受くる恩恵は?と云ふ點で地元の諒解、地主の承諾を得るに付て可なり生みの惱みに苦しんだらしい、いよいよ昨年夏工事に着手してからは僅に一年内外にして竣工を告げ、去る八月二十四日沿線鎌倉山に於て、内務、鐵道兩大臣(代理)臨場の下に盛大なる開通式を舉げた。坦々たる鋪裝道路を何等の邪魔物も見ないで

一踏矢の如く疾走するときの感じは實に爽快である。

從來京濱地方から江ノ島へ○交通機關としては、鐵道・鐵道の便あるも、此の専用道路に依るときは大船から江ノ島迄は、僅に十分間にして達することが出来るから東京から○所要時間は、確かに數十分を短縮し湘南地方交通の革新と共に我國交通界に一新生面を拓いた。(徳田生)

概要

延長 四哩 幅員 四間

路面 コンクリート鋪装(追テアスファルト乳劑仕上ノ等)

工費 六十萬圓(車輛費ヲ含ム)
一般營業用自動車通行料 二十五錢
自家用(遊覽用)自動車通行料 五十錢
乗合自動車賃(片道) 二十五錢

◎柳瀬橋開通式

市に達する國道九號線中、多野郡小野村と群馬郡岩鼻村との入會鳥川に架る柳瀬橋は、東京市を距る約百杆の地點に在り、帝都と高崎、前橋兩市間を連ね當時交通頻繁にして國防軍事上又極めて緊切の要路に當る、舊橋は木造桁橋にして經年腐朽甚しく交通上の危険勘からざるものあつた。

群馬縣當局は昭和三年度より三ヶ年繼續事業として國庫補助の下に昭和三年十一月起工、爾來一年九ヶ月を闊し本年七月新式堅牢なる新橋の完成を告げ、同月二十七日内務大臣代理を始め多數關係者有志の參集を得て盛大なる開通式を舉行した。

橋梁型式 ボニーツーレンス 九連 鋼材下路橋

橋 長 百六十九間七分三厘
幅 員 四 間

面 鐵筋コンクリート床版、アスファルトブロック鋪装

東京市より埼玉縣を貫通して群馬縣廳の所在地たる前橋